

小田原市立病院レジデント制度

2026(令和8)年春の開院を目指します。



※掲載CGは計画段階のものであり、設計経過により変更となる場合があります。

Copyright 2021, Takenaka Corporation

我々の考える人**財**とは



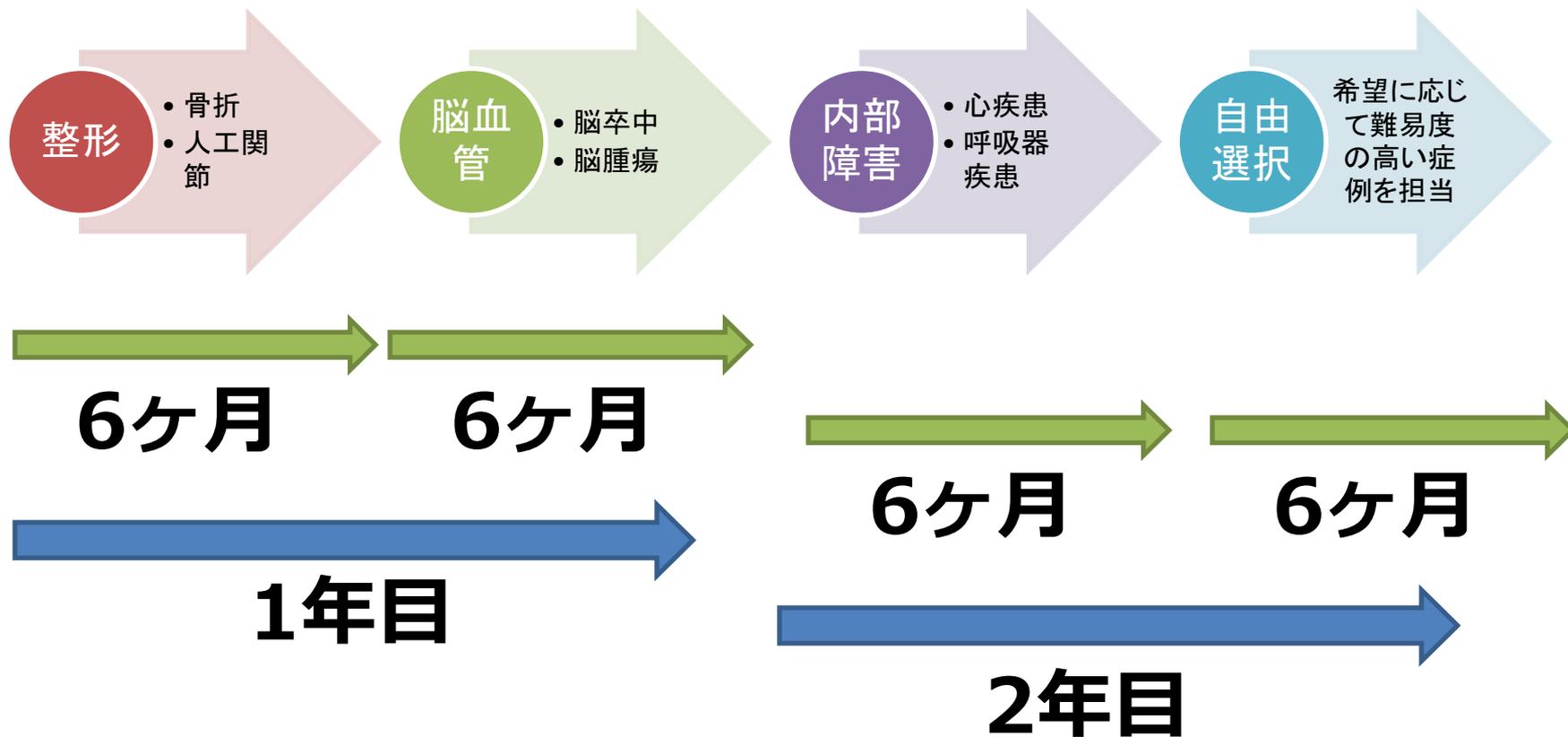
自分の考えを**アウト
プット**できる人

- 臨床能力
- 研究能力
- 教育能力



臨床教育 On the job trainingとOff the job training

On the job training



主担当：1年目4月は0人、5月は2人、6月4人、7月以降6人。
適宜，副担当や代行で診療を実施する

On the job training



大山
運動器

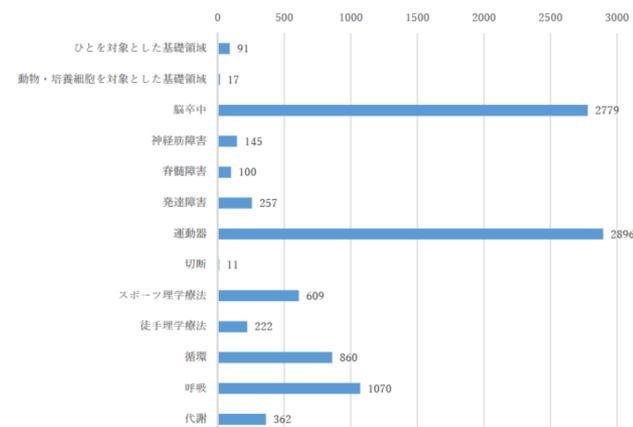


小澤祐
脳血管



小澤哲
循環

①領域別 取得者数 ※2020年10月1日データ



脳卒中2779人
運動器2896人
循環860人

認定理学療法士以上がメンターになります

チームリーダーの特徴



Science
基礎医学

Best research evidence
集団から疫学的手法によって得られた一般論

Clinical expertise
経験に基づく専門的意見

EBM

Patient Values
患者の希望や価値観

Circumstances
患者の個別性や環境など

Off the job training

各チームの理学療法士の講義とオンラインセミナー（自由に視聴可能）の併用



「リハノメ」TOP リハノメのお知らせ 配信動画一覧 配信スケジュール 料金表・プラン よくあるご質問

マイページ

No.1

PT 01:03:41

レッドフラッグスクリーニング入門
～対象者の危険徴候を見逃さない～

講師：須賀 康平 先生

NEW

見放題

レッドフラッグスクリーニング入門～対象者の危険徴候を見逃さない～

No.2

PT OT ST 01:42:01

ニューロリハビリテーションの基本戦略 (2)
～主に運動学習メカニズムに基づいて～

【全3回】ニューロリハビリテーションの基本戦略 (2) 運動学習メカニズムに基づいて

講師：森岡 周 先生

NEW

見放題

ニューロリハビリテーションの基本戦略<全3回>(2)運動学習メカニズムに基づいて

No.3

PT 01:16:40

膝関節の機能不全に対する
マニュアルセラピー
～変形性膝関節症の痛みと
Mobility/Stabilityに対するアプローチを考える～

膝関節の機能不全に対するマニュアルセラピー 前編
～変形性膝関節症の痛みと Mobility/Stability に対するアプローチを考える～

講師：瓜谷 大輔 先生

見放題

膝関節の機能不全に対するマニュアルセラピー<前編>～変形性膝関節症の痛みとMobility/Stabilityに対するアプローチを考

動画検索

TOP

Off the job training



アクティブラーニング

臨床に悩む
PT・OT・STのための

オンラインセミナー
業界No.1
priceの新サービス

リハスタッフ向け
登録講師数
日本一!

月額定額制 見放題

オンラインセミナー 動画配信サービス

リハスタッフの臨床・研究・マネジメントすべてのヒントがここにある

リハノメへのお申込みはこちら >

自律を促す



Off The Job Training

理学療法士講習会の開催

【定員に達しました】理学療法士講習会（基礎・理論）「症例を通じて学ぶ糖尿病と慢性腎臓病患者の理学療法（9月11日・Web開催）」

掲載日：2021/06/24

【定員に達しました】

理学療法士講習会（基礎・理論）「症例を通じて学ぶ糖尿病と慢性腎臓病患者の理学療法」

【内 容】 本講習会では糖尿病や慢性腎臓病患者に関する病態や基本的知識を提示したうえで、講師の担当した症例を通じて臨床意思決定の過程を提示させていただきます。

臨床意思決定をする際の根拠となる病態の知識、エビデンス、クリニカルリーズニングについて、各領域を専門とする講師の先生方に講演を依頼させていただきました。

【開催日時】 令和3年9月11日（土）

受付開始時間：9時30分～

講習会開始時間：10時00分

講習会終了時間：17時00分

【会場名】 Web開催

【講師名】 河辺信秀氏（東都大学幕張ヒューマンケア学部）

平木幸治氏（聖マリアンナ医科大学病院）

忽那俊樹氏（東京工科大学医療保健学部）

[^ 上に戻る](#)

トップランナーと関わる機会を作る



Standardized gait speed ratio in elderly patients with heart failure

Tetsuya Ozawa¹, Masashi Yamashita², Satoshi Seino³, Kentaro Kamiya⁴, Nobuyuki Kagiya^{5,6,7}, Masaaki Konishi⁸, Hiroshi Saito^{9,10}, Kazuya Saito¹¹, Yuki Ogasahara¹², Emi Maekawa¹³, Takeshi Kitai¹⁴, Kentaro Iwata¹⁵, Kentaro Jujo¹⁶, Hiroshi Wada¹⁷, Takatoshi Kasai^{10,18}, Shin-ichi Momomura¹⁹, Nobuaki Hamazaki²⁰, Kohei Nozaki²⁰, Hunkyung Kim³, Shuichi Obuchi³, Hisashi Kawai³, Akihiko Kitamura³, Shoji Shinkai³ and Yuya Matsue^{10,18*} 

¹Department of Rehabilitation, Odawara Municipal Hospital, Kanagawa, Japan; ²Department of Rehabilitation Sciences, Kitasato University Graduate School of Medical Sciences, Sagami-hara, Japan; ³Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, Tokyo, Japan; ⁴Department of Rehabilitation, School of Allied Health Sciences, Kitasato University, Sagami-hara, Japan; ⁵Department of Cardiology, The Sakakibara Heart Institute of Okayama, Okayama, Japan; ⁶Department of Digital Health and Telemedicine R&D, Juntendo University, Tokyo, Japan; ⁷Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Faculty of Medicine, Juntendo University, Tokyo, Japan; ⁸Division of Cardiology, Yokohama City University Medical Center, Yokohama, Japan; ⁹Department of Rehabilitation, Kameda Medical Center, Kamogawa, Japan; ¹⁰Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan; ¹¹Department of Rehabilitation, The Sakakibara Heart Institute of Okayama, Okayama, Japan; ¹²Department of Nursing, The Sakakibara Heart Institute of Okayama, Okayama, Japan; ¹³Department of Cardiovascular Medicine, Kitasato University School of Medicine, Sagami-hara, Japan; ¹⁴Department of Cardiovascular Medicine, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan; ¹⁵Department of Rehabilitation, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan; ¹⁶Department of Cardiology, Nishiarai Heart Center Hospital, Tokyo, Japan; ¹⁷Department of Cardiovascular Medicine, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan; ¹⁸Cardiovascular Respiratory Sleep Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine, 2-1-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8421, Japan; ¹⁹Saitama Citizens Medical Center, Saitama, Japan; and ²⁰Department of Rehabilitation, Kitasato University Hospital, Sagami-hara, Japan



1回/月 面談

雇用条件

**月給制（150時間/月，217,700円/月），時間外勤務手当，期末手当，交通費，有給休暇，各種社会保険あり．住宅補助要件等．
勤務日：シフト制（365日体制）．5日/週の勤務を基本として，個別に調整．**

年収の概算等は個別にお問い合わせください

スタッフ一同お待ちしております



小田原・箱根は観光地です。
都心へのアクセスも良好です。
漁港が近いので、美味しい魚があります。